

商店街ネットキャビン令和5年9月アンケート

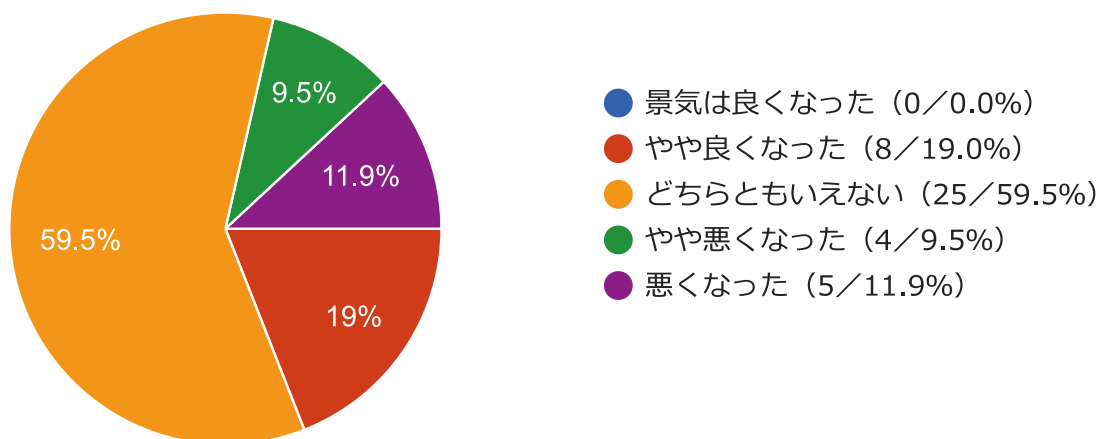
実施期間： 令和5年9月1日～9月10日
対象者： 県内の33地区のモニター60人
総回答者数： 42人（県内29地区）

～景況感について～

1. あなたの所属する商店街（もしくは、お店が立地する地域）での、最近の景況感を教えてください。以下から、一つだけお選びください。（最近の3ヶ月間を振り返って）

42件の回答

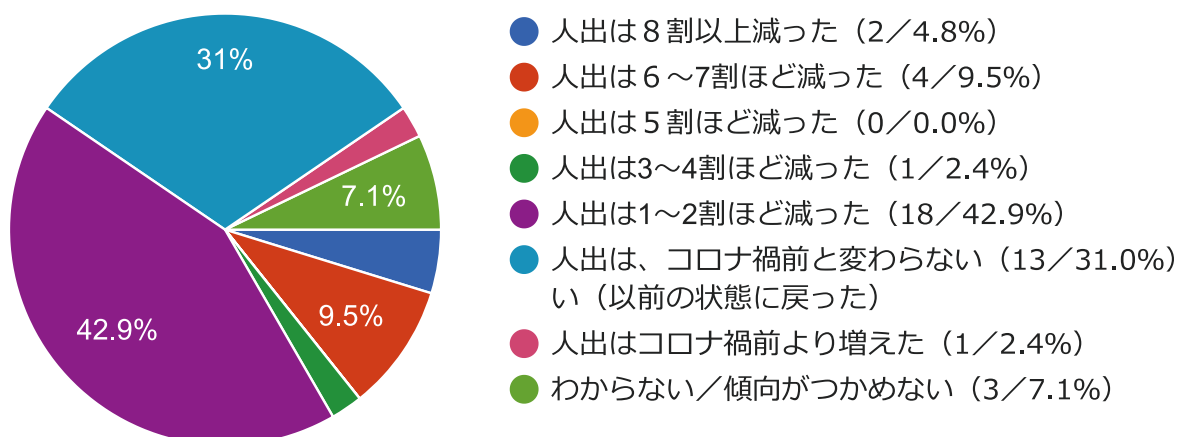
- ◆「どちらともいえない」が最も多く、59.5%だった。
- ◆次点が「やや良くなった」で、19.0%だった



2. あなたの所属する商店街エリアの、普段の人出は2023年8月現在、どうなっていますか？ コロナ禍前の同時期と比較してどう変化したか教えてください。

42件の回答

- ◆「人出は1～2割ほど減った」が最も多く、42.9%だった。
- ◆次点が「人出はコロナ禍前と変わらない(以前の状態に戻った)」で、31.0%だった。

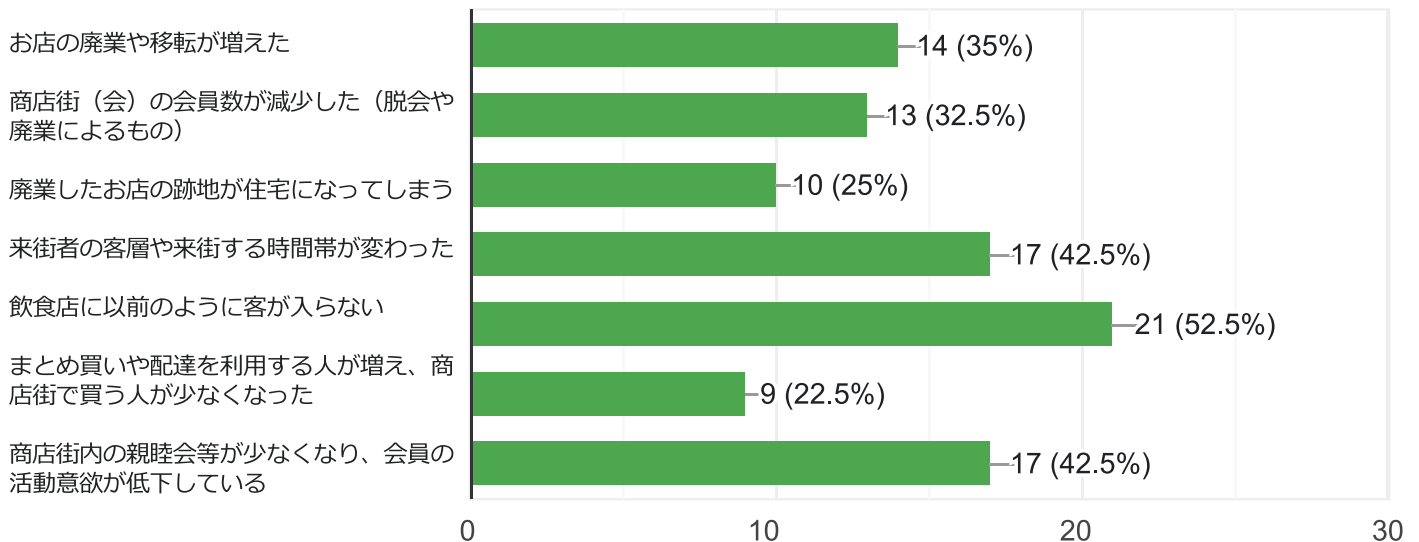


～最近の商店街問題、兆候について～

3－1. 商連かながわは今年4月に「神奈川県商店街実態調査」を行いました（現在報告書作成中）その中で、コロナ禍以後に今までに無かったような問題が起こっているという声が届きました。みなさんの商店街でも、同じようなことは起こっていませんか？ 下記の中で該当するものがありましたらチェックを付けてください。（複数回答）

40 件の回答

◆最も多かったのが「飲食店に以前のように客が入らない」で52.5%だった。



3－2. 前項ではネガティブなことをお聞きしましたが、逆にコロナ禍を経て商店街や商店にとって良くなったことや改善されたことなどがありますか？ありましたらその内容を教えてください。

23 件の回答

◆効率化をはかることができた、キャッシュレス決済やプレミアム商品券が好評である、などいくつかの効果について挙げられた。

[効率化をはかることができた]

- ・作業の見直し・経費の見直しの時間が取れ、効率化は図れた。コロナでサーキュレータを使用して、空調の電気代と営業時間の見直しで照明の電気代が減少。営業時間とオペレーションの変更で、総人件費も減少
- ・前項でもあったように、来街者の客層や来街する時間帯が変わったので営業時間を短縮し良く言えば労働時間が減り余暇時間が増えた。 ※売り上げはさほど変わらず。
- ・LINEなどを連絡ツールに使えるようになって、役員への連絡がスムーズになった。
- ・オンライン会議などの導入

[キャッシュレス決済やプレミアム商品券が効果]

- ・キャッシュレス決済を積極的に導入し、客数を伸ばしている店舗がある。また、コロナ禍の支援事業として、県のプレミアム商品券支援事業補助金を活用し、商店街の活性化に繋げる活動を継続している。
- ・キャッシュレスやプレミアム商品券事業などにより消費者の購買意欲が強くなり売上向上に寄与

[業種が入れ替わって、店が増えてきた]

- ・新規開店など、若い店主さんがちょっとですが出てきました。
- ・空いたテナントに小規模事業者が出店する方が増え、同時に加盟店も増えてきている。
- ・新しい店が入ってきた
- ・観光客が増えてきた。飲食関連の店舗が町内に増えてきた

[客層が変わって増えた]

- ・公共交通機関を使用して繁華会、デパート、ターミナルへの飲食、ショッピングに行かないという人が近くで買い物をするようになった。

[衛生状況が改善]

- ・飲食物店の入り口が清潔になった。
- ・消毒等 衛生面での配慮が普通にできるようになった。

[その他]

- ・商店街のお店の閉店時間が早くなった。
- ・コロナ禍前より良くなったことは無いが、コロナ禍を経て減っていた客、購買意欲が少しずつではあるが戻って来ているが、物販店は全体的にコロナ禍前にはまだ完全には戻っていない。逆に物価高による影響で購買単価は下がっている。
- ・イベントを開催し易くなった
- ・空き店舗が増加し、出店したい人は、大手ショッピングモールにも出せる
- ・道路が空いて車が通りやすくなった。車での来街者に便利になった。

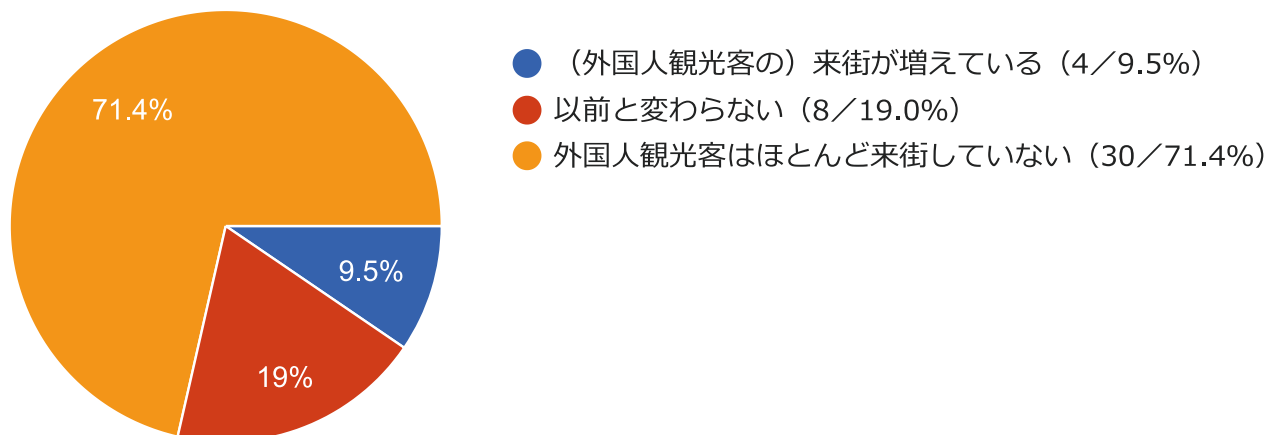
～インバウンドについて～

4－1．あなたの所属する商店街（もしくは、お店が立地する地域）では、外国人観光客の来街は増えていますか？ この3か月ぐらいの様子をイメージしてお答えください。

42 件の回答

◆「外国人観光客の来街が増えている」との回答は少なく9.5%だった。

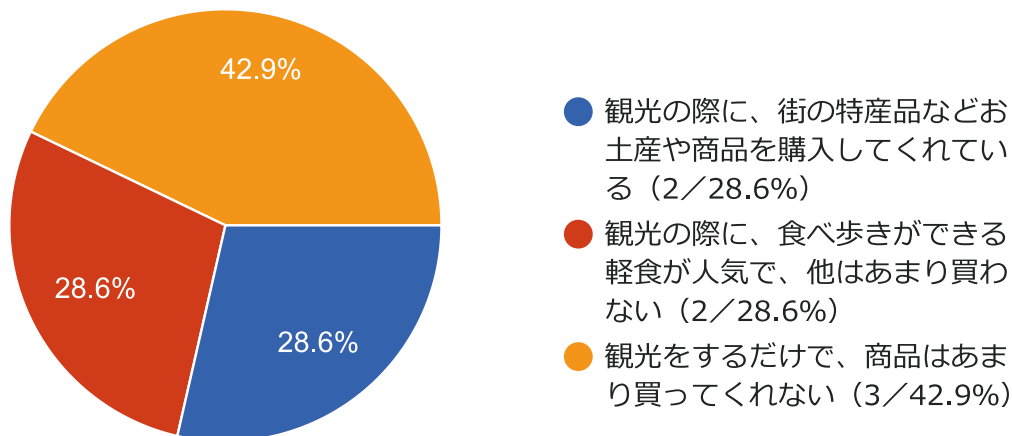
◆「外国人観光客はほとんど来街していない」が71.4%だった。



4－2．実際に外国人観光客が来街されるエリアの方にお聞きします。彼らはどのような購買活動をされることが多いように見えますか？ 肌感覚でお答えください。

7 件の回答

◆「観光をするだけで商品はあまり買ってくれない」が一番多く、42.9%だった。



4－3．何か商店街でインバウンド対策などを検討されていたら、その内容を教えてください。

13 件の回答

◆商店街の立地的にインバウンド対策を考えにくい場所も多く、関連団体との連携により、イベント等を実施するなどのことが挙げられた。

[検討中]

- ・今後商店街ナイトツアー、ナイトクルージングの実施予定。
- ・外国人観光客が利用する民泊に商店街の英語版MAPの設置をお願いする。
- ・町が行っているホームステイ事業に便乗して何か企画したい

[その他]

- ・スマートフォンの通訳アプリなどの使い方を知っておく
- ・別にありませんが米軍基地との共同ボランティア作業は10年になります
- ・昔ですが商連で翻訳機の購入補助があった
- ・検討していない(住宅地内立地)
- ・多言語での案内
- ・住宅地のSCの為インバウンド対策はない
- ・今のところ考えていない。

- ◆景況感については、「どちらともいえない」が最も多く、59.5%だった。次点が「やや良くなった」で、19.0%ということで、見通しがはっきりしない状況が続いている。
- ◆コロナ禍以後の人出については、「人出は1～2割ほど減った」が最も多く42.9%で、次点が「人出はコロナ禍前と変わらない(以前の状態に戻った)」で、31.0%だった。
- ◆今までになかったような問題については、最も多かったのが「飲食店に以前のように客が入らない」で52.5%だった。人出の影響を受けやすい飲食店が苦戦していることが分かる。
- ◆また、逆にコロナ禍を経て商店街や商店にとって良くなったことや改善されたことなどについては、様々なことで効率化をはかることができた、キャッシュレス決済やプレミアム商品券が好評である、などいくつかの効果について挙げられた。
- ◆インバウンドについては、「外国人観光客の来街が増えている」との回答は少なく9.5%で、「観光をするだけで商品はあまり買ってくれない」が42.9%だった。しかし、そもそも「外国人観光客はほとんど来街していない」が71.4%であり、商店街とインバウンドの関係性を探るにはサンプル数が足りていないという結果になった。。